

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">障害児指導法演習</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">教育教福3回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">小田 浩伸 石川 慶和</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">障害のある子どもの実態把握、個別の支援計画の作成、保護者との連携、チームアプローチ等について実践的に学ぶ</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>発達障害（LD・ADHD・高機能自閉症等）、知的障害、肢体不自由等の子どもとの関わりや支援実習を通して、個別の指導・支援計画の立て方や指導・支援の方法を実践的に学ぶこと、及び、障害のある子どもの保護者の悩みや心情等を理解することが、この授業（演習）のねらいである。今後の特別支援教育の実践に役立つことを期待している。</p> <p>* 本科目は 木曜4限・5限の連続授業です。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">出席状況、実践実習に参加したときの観察記録、及び、毎回の実践報告レポート等により総合的に評価する</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">随時プリントを配布する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">必要に応じて適宜紹介する。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション <ol style="list-style-type: none"> ①本授業（実践実習・チームアプローチ）の意義について ②授業の進め方・スケジュールについて等 ③授業に参加する上での留意事項等 2. 指導・支援の活動プログラム <ol style="list-style-type: none"> ①個別の指導・支援計画の作成 ②個別課題の設定 ③集団場面での課題設定 ④支援計画に基づく指導・支援の実践 ⑤保護者との話し合い（連携） ⑥事例研究（カンファレンス） 3. 指導・支援の実習内容（例） <ol style="list-style-type: none"> ①行動支援のアプローチ（問題となる行動の理解と支援） ②ことばの指導（発声・発語指導等） ③コミュニケーションの指導（視覚支援プログラム） ④心身のリラクゼーションの指導（動作指導、リラクゼーション技法） ⑤教科の基礎学習（国語、算数の基礎学習等） ⑥教材・教具の作成（スケジュール表、手順表等の作成） 4. 事例研究（カンファレンス）について <ol style="list-style-type: none"> ①子どもの様子を詳細に報告する（事実と推測を分けて報告の仕方を学ぶ） ②個別の支援計画を作成し、計画－実践－評価の観点で検討・協議する ③ディスカッションを通して、子どもの見方や指導内容のレパートリーを拡げる ④次回の課題と準備について確認する <p style="text-align: center;">* 毎回の実践報告レポートをチームで作成して提出する</p> 5. まとめ（個別の支援計画 Plan-Do-See について） <ol style="list-style-type: none"> ①子どもとの関わりで学んだこと ②保護者との情報交換の場で学んだこと ③個に応じた指導・支援の在り方について 		